

各位

党派を超えて国家的課題を追求する

## 公益財団法人 協和協会 時代を刷新する会

両団体会長代行 岸 信 夫  
両団体理事長 半 田 晴 久  
教育部会長 若 林 克 彦  
両団体専務理事 清 原 淳 平

### 教育部会のお知らせ (第348回)

日時 平成31年1月25日(金) 午後1時半～3時半  
場所 衆議院第一議員会館 地下1階 第1会議室  
千代田区永田町2-2-1

◆国会議事堂前駅(丸の内線・千代田線)①番出口より下車2分、  
永田町駅(有楽町線・南北線)①番出口より下車5分。当日、  
午後1時より、議員会館玄関にて、通行証を差し上げます。時  
刻前に到着された方は、恐縮ですが、金属探知機通過後、受付  
脇のロビーにてお待ちください。会議開始後にお越しの方は、  
受付に「第1会議室に行きたい」旨、お伝え下されば、お迎え  
にまいります。

議題 1、最近の教育改革について思う  
挨拶 若林克彦部会長(国士舘大学元学長)  
2、要請書叩き台案の検討(継続審議)  
解説 若林克彦部会長

報告 去る平成30年12月14日開催の、第347回教育部会は、  
若林克彦部会長が議長を務めて行われました。まず、若林部会長  
より、「最近の教育改革について思う」と題して挨拶がありました。  
高等学校から修士課程まで現状経団連は、新卒一括採用の是  
非や「キャリア教育」などについて大学と協議する機関を設置す  
ると発表した。かねてから件団連側は「日本の大学生は勉強不足  
だ」「大学教育と職業のつながりが希薄だ」という趣旨の発言を  
しており、経済界は新卒一括採用の慣行を改めるが、大学側にも  
改革の必要性を求めている。AIなどの先端技術を社会で活用す

るには、文系・理系の枠を超えた高度人材育成が必要となる、2年後に開始されるセンター試験改革と併せて、学部の縦割り組織からの脱却の必要性は、中教審も指摘しているところである。学部の統廃合にとどまらず、例えば文系の学生が理系大学に通って工学系の単位を取るなど、学習者の目線でカリキュラム再選を図るべきだという意見もある。もはやどの大学を卒業したかが重要視される時代ではない

次に、要請書テーマの絞り込みについて、資料の読み上げ及び意見交換がありました。○これから大学教育には、学力の3要素、すなわち主体性、課題の発見と解決、基礎学力の3要素が不可欠だ。OECDの調査では、基礎学力は国際平均以上ではあるが、大学で学ぶ目的がはっきりしていない生徒が3割、学力評価の最低レベル層も10%程度存在する。○従来の改革では、底辺を引き上げることが過度に重視されていた。これからの時代は、学位授与、教育課程、入学者受け入れの3方針を策定し、外部機関からの評価を受けて大学教育を行うことが求められている。○経済界からの要望を聞くと、大学教育改革のスピードは遅いといわざるを得ない。質の改革に一刻も早く着手せねばならない。○学力の3要素もかなり抽象的な内容だ。社会に出て即役に立つ人材になるためにはどのような能力が必要なのか、経団連の作る組織がどのような意見を出すかに注目していきたい。○これまでの入学試験は、落とすための試験という側面があった。今後は、文系にも理系の素養が、理系には文系の素養がある程度要求されるだろうから、テストの方式もかなり変化を要請されるだろう。ただ、採点するほうは大変だ。

★資料代 会員は**五百円**に ご協力御願ひ申し上げます。

**次回、1月25日（金）の教育部会に**

**出・欠**（いずれかに○印）

**事務局宛 F A X 03-3507-8587**

御芳名 \_\_\_\_\_

貴方様の F A X \_\_\_\_\_

電話 \_\_\_\_\_

**テロ対策への警備からの要請上、会員に限ります。非会員で  
参加希望者は、2日前までに履歴書をご提出下さい。**

**（その場合の当日会費は二千元となります）**

**当日連絡先 080-8836-6203 又は 080-9292-2620**